

梓川中学校だより

発行者

梓川中学校

Tel 78-2024

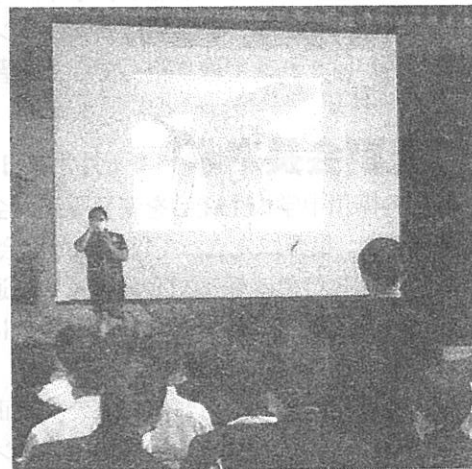
「他者への配慮 思いを受け取って行動する」

学校長 松本 隆

11月初旬、朝日を浴びた北アルプスを眺めつつ運転していると、対向車がヘッドライトをつけて向かってきます。不思議に思いつつ運転することおよそ5分、ライト点灯の理由が奈良井川に近づくにつれ分かってきました。朝霧です。一気に視界が悪くなり、運転しながらライト点灯となりました。ここ松本平は盆地になっていることから、昼夜の気温差が大きくなる晩秋から初冬にかけて朝霧に覆われます。信州の冬はもう間近なのだと思います。

新型コロナウイルス感染症も再拡大となり、各ご家庭におかれましては感染対策にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。学校においても、「学びを止めない」ための感染防止対策（マスクの着用や手洗いの徹底、換気、3密の回避など）をこれまで同様徹底していきます。また、新型コロナウイルス感染症は、いつ誰が罹患してもおかしくない状況にあることを踏まえ、感染した生徒やご家族について不用意な詮索、SNSを通じての興味本位な発信等を行わないなど、人権配慮についてはこれまでも指導して参りました。今後もこのことについては繰り返し指導して参ります。これからの時期はインフルエンザ等、その他の感染症に罹患する可能性が高くなってきます。現在も、体調不良等様々な理由からオンラインでの授業参加をする生徒がいますが、この参加についてはご家庭のご理解の上、学校として学習の場を可能な限り提供できるようにしてきました。今後も各教科準備が整ったところから取り組んで参ります。新型コロナウイルス感染症への人権配慮同様、不用意な詮索等ないよう学校でもその都度指導していきます。よろしくをお願いします。

さて、今月に入って生徒と一緒に、また市内の教職員等で講演を聴く機会がありました。梓川中学校70周年記念PTA講演会では、パラリンピアンの方から演題「できるかできないかではなく、やるかやらないか～自分の可能性を信じて～」について、ご講演いただきました。常に前を向いて挑戦していく三澤さんの生き方に大いに刺激を受けましたが、お話の中で「これはすごい」と思ったのは友達、家族(大人)の存在でした。そっと(思い切り)背中を押してくれるひとがいることで、三澤さんはさらなる一歩を踏み出していったのだと思います。



12日には松本市、松本市教育委員会、松本市医師会主催の「第20回子どものころとからだの問題を考える～学校関係者と学校医のつどい～(テーマ『LGBTs』)」に参加し、演題「LGBTsの児童生徒の存在を認識した学校での取り組み」について宝塚大学看護学部教授の日高庸晴先生からご講演いただきました。

「多様性を尊重する」という言葉をよく耳にするのではないかと思います。人権の観点からもまずは正しく情報を得ること、そのことを多くの人と共有していくことの大切さを感じさせられた講演内容でした。「無神経な会話については、セクハラになる可能性がある。相手の同意がない言動は、たとえそれが同性であってもダメである」という話から、言葉の重みについて生徒だけでなく大人も考えなければならないと思いました。

秋深き 隣は何を する人ぞ 松尾芭蕉 (江戸時代前期の俳人)

同じ言葉を聞いた隣の人が、どのように感じたのか気になる秋の暮れです。

各種行事実施



修学旅行 10月19日(水)・20日(木)

テーマ: 「Let's リア充」

～最後のメンバー楽しもう～

3学年の修学旅

行を実施しました。現3学年は、新型コロナウイルス感染拡大のため1年生の時より宿泊行事を行うことができませんでしたが、念願の宿泊行事を無事実施することができました。昨年度と同様に岐阜県の飛騨高山方面への一泊二日の旅行となりました。



1日目は、世界文化遺産白川郷をクラスごと散策、引き続き郡上で各自が選択したコースにわかれてグループごとアクティビティーに取り組みました。

2日目は、飛騨の里にてコースにわかれ「さるぼぼづくり、組紐づくり、ぼぼ鈴の絵付けづくり、マイ箸・マイ箸袋づくり」を体験しました。その後、高山陣屋・まちの博物館など高山の町並みをグループごと見学しました。



普段の学校生活とは環境が変わり、日頃気づかない仲間の姿を目の当たりにし、お互いの良さを再確認した笑顔あふれる2日間となりました。

合唱コンクール

11月8日(火)

昨年度にひき続き梓流祭とは別日に合唱コンクールを行いました。新型コロナウイルス感染状況がレベル5に引き上げられ、全校が一斉に集まり実施することはできませんでしたが、学年毎に体育館に集まり、他学年はオンラインで映像を視聴する形で行いました。どの学級も、マスクごしではありましたが、これまで取り組んできた練習の成果を発揮し、素晴らしい合唱となりました。



正副会長選挙 11月10日(木)

来年の梓川中学校生徒会を背負う正副会長を決める選挙が行われました。投票に先立って行われた立会演説会は、1, 2年生は体育館、3年生は教室でオンラインを通して行われ、正副会長候補者6名がプロジェクターを効果的に使いながら、自らの公約を堂々と主張しました。



開票の結果、次期正副会長には次の生徒が選出されました。来月には正副委員長が決まり、3年生からバトンを受け取ることになります。

生徒会長: 細田 悠斗【「みんな」が「ひとり」のために、ひとりが「みんな」のために】

男子副会長: 佐藤 悠陽【レッツ レク!青春を充実したものに】

女子副会長: 佐原 咲良【SDGs 目標達成と、梓川中学校をより過ごしやすく、楽しくするために学校を変えていく!!】



12月の主な予定

- 1日(木) 安全点検日・学年費振替・保護者懇談会①14:05~16:45 <~7日(水)>
- 15日(木) 小学校6年生体験授業 [5校時] 1年下校 13:55 2. 3年下校 15:00
- 19日(月) 生徒総会 [5校時] 一般下校 15:20 完全下校 16:20
- 20日(火) 生徒会引継会 15:30~
- 23日(金) 2学期終業式 [3校時] 完全下校 12:40 (給食なし)
- 24日(土) 年末年始休業 (~1月5日まで) 学校閉庁日 12/29(木) ~1/3(火)